

の「日」を迎えて



発行所
金属産業新聞社
 東京都港区西新橋 3-23-6
 (白川ビル内) 〒105-0003
 ☎(03) 3433-6813
 ☎(03) 3433-5605
 関西支社
 大阪市中央区玉造 1-2-36
 (大阪農商ビル) 〒540-0004
 ☎(06) 6762-3217
 ☎(06) 6762-3297
 購読料1万円15,000円(税別)
 発行 週刊(月曜日)

「ねじの日特集号」をお届けする。モノとモノをつなぐ、また簡単に取り外すという機能で長い歴史を持ち絶えず存在してきた「ねじ」を見つめ直して、製品の未来を考えていきたい。今号は昨年号で本紙が読者に提案した「未来のねじ」に引き続き、IoTをテーマに、こうした時代に向けたファスナー製品の在り方を探るために、各社の最新技術を追った。また、鉄道博物館の取材協力による鉄道とねじの歴史、お笑いコンビ「ねじ」への取材、さらに大手ねじ商社トップのロングインタビューも特集した。

ねじが開く未来を発信！

日本ねじ工業協会会長 **相澤 正己**



先の熊本地震により被災された皆様により哀悼の意を表します。

さて、アベノミクスは今年で4年目となります。当初は田安や株高が急速に進み、景気も若干回復に向かう兆しを見せ

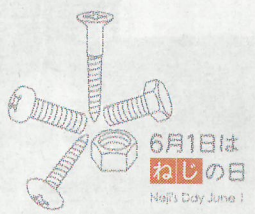


ねじ協スローガンのロゴ

ましたが、年初来株価は乱高下しており、再び足踏み状態になっているのではないかと思います。政府は緩やかな回復基調

よように思います。状態になっているようです。国民の間では、より一層の景気対策を望む声が大きくなってきている

にあるとの発表をしましたが、大企業の上りも昨年ほどの上昇額には至らず設備投資もほぼ横ばい



ねじの日 特集号

さて、当協会は昨年度協会創立55周年を迎えました。一般社団法人日本鍛圧機械工業会様の要請を受けて、7月のプレス・板金・フォーミング展に協会として出展し、最近では2010年に開催された機械要素技術展以来となります。

今回は、「ねじ」の重要性をアピールするもので、「この世はねじでできている」と題し、「暮らしを支えるねじ」、産業を支えるねじ」をテーマとして出展しました。セミナーやコマ大戦なども交え、延べ1400名以上の多数の方にブースへの来場を頂きました。また、11月には55周年

記念フォーラムを開催し、未来をつくる新しい試みを紹介するセミナーと「ねじが開く未来を発信しよう」というテーマのもと、日本ねじ商業協同組合連合会様にもご支援を頂き、71名の参加者によるワークショップを行いました。ワークショップでは、現状抱えている問題点や課題について、グループ討議を通じて解決策を考えるというものでした。参加者は製造側や販売側とそれぞれの立場の違う方たちとの意見交換に大変有意義で貴重な経験が出来たとのお話を伺いました。

また、昨年度5回目となる協会認定のねじ製造

カチョ！っと英語教室【問題】 2016.05.30

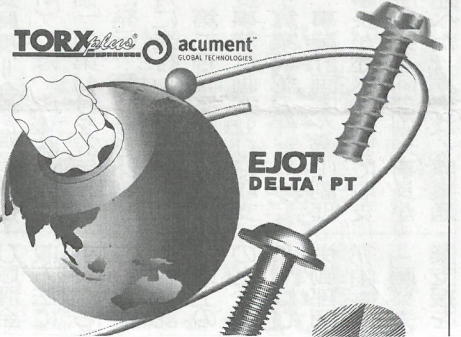


What is your main point?

答えは紙面に！

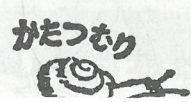
ナテックは環境に最適のファスナーを提案します。

- 軽合金用ねじALtracs®はタップレス化によるコスト削減で省資源・省エネルギーに貢献します。
- DELTA PTなら樹脂リサイクルを加速します。
- 高強度アルミファスナーは、省エネルギーと資源のリサイクル化を提案します。



平成28年ねじの日の記 構造。ボディ裏側には念品「リキッドボールペン」は、ボディ(軸)表れている。3月15日に新横浜国際ホテルで開催の日本ねじ商業協同組合連合会「第2回ねじの日」

これからも「ねじの日」を機会にPRを続けていくとともに、ねじ産業に携わる方々の益々のご発展を祈念いたします。



ボールペン

平成28年ねじの日の記 構造。ボディ裏側には念品「リキッドボールペン」は、ボディ(軸)表れている。3月15日に新横浜国際ホテルで開催の日本ねじ商業協同組合連合会「第2回ねじの日」

